

# 新年の



美郷町長  
松田 知己

**新**

年おめでとうございます。みなさんは昨年を振り返りながら、「今年こそ」あるいは「今年も」という期待や希望を持ちながら、こころ爽やかに新春をお迎えのことと存じます。

さて新春早々お酒の話です。私は以前、日本酒の古酒のお店に行ったことがあります。普通、日本酒は色が付くと「古い酒だ」と嫌われますが、きちんと保存した日本酒は別の価値を有しているようです。飲んでみるとまろやかでおいしいです。時間経過が角を取って丸くしたのだろうと思いますが、改めて見渡してみると、それはお酒に限らず、人も社会も同じではないかという結論に至ります。やはり、より良い環境にてより良い時間を積み重ねることは、人は円熟味に、社会は成熟性に繋がるといふことだろうと思います。

さて美郷町はこの1年、どういう時間を積み重

ねたのか、改めて振り返ります。まず基礎的な業務です。財政については将来を見据え、公共施設等の管理運営に関する最適化構想策定に着手したほか、福祉では事業者と連携した認知症早期発見の環境づくり、教育では小学6年生の交流による小学校から中学校への円滑移行の環境づくり、税務では短時間で税申告できる電子申告の環境づくり、広聴ではスマートフォンでも快適に情報取得できる環境整備に努めました。

一方、町勢発展に関する環境づくりは、六郷地区の街なか活性化のプロジェクトに着手したほか、七滝山を含んだ地域資源活用プロジェクト、サイクリングによるインバウンド推進のプロジェクトにも着手しております。また、農業では作目選択に繋がる薬用植物キキョウの初出荷の目処を立てたほか、東京オリンピック2020では、タイ王国バドミントン選手の事前合宿も決定しました。

また、独自性の高いメモリアル婚姻届を作成し、幸せを後押ししながら、来町者増加にも繋がる取り組みにも着手しております。

こうした環境づくりは、一朝一夕で成果を生むわけではありませんが、意識を持って実践し、その時間を積み重ねれば、知らず美郷全体の気風は育まれると私は信じております。迎えた新年、こうした認識を大切に引き続き各般にわたり展開し、多くの方が共有できる最大多数の最大幸福、そして何か困難をお持ちの方も最大幸福を実感できる、そんな地域社会をめざしてまいりたいと思えます。そのためにも、私どもは今年も職員一丸となって最大限がんばってまいります。みなさんには、各般にわたる展開にどうかご理解とご協力を心からお願いいたします。



# ごあいさし



美郷町議会議長

澁谷 俊 二

## 明

皆さまにはご家族おそろいで良  
い年を迎えられていることと心から  
お慶び申し上げます。日頃より町議会に対しま  
しては深いご理解ご高配を賜り、感謝申し上げ  
ると共に厚く御礼を申し上げます。町の発展と  
町民の福祉向上のため、議員一同一丸となり努  
力してまいる所存です。

さて昨年を振り返ってみますと、国の内外を  
問わず激震の走る出来事が起こったことは、町  
民の皆さまの記憶にも残っていることと思いま  
す。国外では北朝鮮の度重なる弾道ミサイルの  
発射、また国内では多発する地震、台風や集中  
豪雨による土砂崩れ等、各地に被害をもたらし  
ました。美郷町でも、七月の集中豪雨では家屋  
への浸水、農地法面の崩壊、農作物等、大変な  
被害を受け、今更ながらに自然災害の恐ろしさ

を感じた年でもありました。

さて、半世紀近く続いた国による米の生産調整  
(減反)が平成30年度から廃止となることはご存  
知と思いますが、今後国ではどのような農業政策  
を考えているのか、まだ不透明な部分が多く農家  
の心配もこのうえないものとお察しします。ただ  
し、米直接支払い(7,500円/10a)分の  
714億円については、支援策として土地改良事  
業、水田フル活用、収入保険制度等に向けるとの  
話しは聞いていますが、これについてもまだはっ  
きりしません。今年の農業設計・計画を立てるた  
めにも早く国の施策を示して頂きたいと思いま  
す。昨年11月20日東京国際フォーラム(ホール  
A)において地方自治法施行70周年記念式典・  
記念シンポジウムが天皇后陛下をお迎えし  
挙行されました。昭和22年5月日本国憲法と同  
時に施行された地方自治法の歴史と必要性を学

び、今後の議会活動に大いに役立つものと感じ  
てまいりました。この記念式典に出席させてい  
ただき、町づくり、町の発展は人づくりが大切  
だと教えられた気がします。果たして10年後美  
郷町はどう変わるのであるのか楽しみです。

また、政府は、天皇后陛下の退位日を平成31年  
4月30日と定める政令を公布しました。天皇退  
位は文化14年(1817年)の光格天皇以来、  
約200年ぶりで、現憲法下では初めてのことに  
なっておりますが、天皇后陛下のご健康を考えると、  
政府の決定も素直に受け入れることができず。  
退位後もご壮健であられ日本の将来を見守って  
いただきますよう心からご祈念申し上げます。

町民の皆さまには、本年が最良の年でありま  
すように心からご祈念申し上げます。年頭のあいさつ  
とさせていただきます。